

2019 年度課題別研修「災害復興支援」コース
研修委託業務概要

1. 当該研修コースの概要

- (1) 研修コース名：
2019 年度課題別研修「災害復興支援」コース
- (2) 研修受入期間（予定）：
2019 年 9 月末（来日）から 2019 年 10 月下旬（離日）
- (3) 履行期間（予定）：
2019 年 8 月末から 2019 年 11 月下旬
- (4) 研修員
 - 1) 定員：14 名
 - 2) 研修対象国：フィリピン、ネパール、グアテマラ、エクアドル、ペルー、アフガニスタン、キューバ、チリ（国別研修上乘せ：カーボヴェルデ、メキシコ）
 - 3) 対象組織：復興政策および復興事業実施に関わる行政組織、NGO 等
 - 4) 対象人材：政策決定に関わる行政官、市民団体との連携に関わる行政官、復興活動に関わる NGO 職員
- (5) 研修目的（案件目標）：
研修参加者が、復興における行政機関の役割、集団移転計画や土地利用計画策定における市民と行政の合意形成過程、なりわいの回復/産業振興等における行政と市民の協働に関して学び、自国における課題を見出し、関連政策形成、事業実施する際の能力の向上に資する。
- (6) 研修成果：
 1. 震災復興における行政の役割を学ぶ。
 2. 復興過程におけるその他様々な地域社会のアクターの役割を学ぶ。
 3. 復興に関する法律、システムを学ぶ。
 4. 研修参加国それぞれの国の状況における復興に関する課題を共有する。
 5. 研修参加国における復興のためのアプローチを提言する。
- (7) 使用言語：英語、西語
当該言語で講義を行うこととするが、必要に応じ機構は研修監理員を手配する。
- (8) 業務実施場所：
JICA 東京、JICA 東北、及び研修に必要な設備・資材を有する施設を想定。
- (9) 契約金額：
機構が定める研修実施経費基準に基づき積算した見積書をもとに、契約交渉を経て決定する。

2. 委託業務の範囲及び内容

(1) 研修実施全般に関する業務

- ① 日程・研修カリキュラムの作成・調整
- ② 研修実施に必要な経費の見積り及び経費処理
- ③ 研修実施要領の確認（評価項目・評価基準の策定）
- ④ 研修員選考への助言
- ⑤ 当機構その他関係機関との連絡・調整
- ⑥ 研修監理員との調整・確認
- ⑦ コースオリエンテーションの実施
- ⑧ 研修の運営管理とモニタリング
- ⑨ 研修員の技術レベルの把握
- ⑩ 各種発表会の実施
- ⑪ 研修員作成の各種レポートの分析・評価
- ⑫ 研修員からの技術的質問への回答
- ⑬ 評価会への出席、実施補佐
- ⑭ 開・閉講式への出席、実施補佐
- ⑮ 反省会への出席
- ⑯ 講義、視察の評価

(2) 講義（演習・実習）の実施に関する業務

- ① 講師の選定・確保
- ② 講師への講義依頼文書の発出
- ③ 講義室及び使用資機材の確認
- ④ 講義テキスト、資機材、参考資料の準備・確認（翻訳依頼、印刷、著作権処理を含む）
- ⑤ 講義等実施時の講師への対応
- ⑥ 講師謝金の支払い
- ⑦ 講師への旅費及び交通費の支払い
- ⑧ 講師（又は所属先）への礼状の作成・送付

(3) 見学（研修旅行）の実施に関する事項

- ① 見学先の選定・確保と視察依頼文書又は同行依頼文書の作成・送付
- ② 見学先への引率
- ③ 見学謝金等の支払い
- ④ 見学先への礼状の作成と送付

(4) 事後整理

業務完了報告書（教材の著作権処理報告含む）及び経費精算報告書を1部ずつ、各コース履行期間終了より前の所定の期日までに提出する。

3. 留意事項

- 当機構は、本研修コース実施にあたって、実施言語の研修監理員を配置予定です。研修監理員は、講義、演習・実習及び見学・研修旅行時の通訳を兼務します。
- 本業務概要は予定段階のもので、詳細については変更となる可能性もあります。

以上